

はーと なび

社団法人 全国腎臓病協議会 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-20-9 巣鴨ファーストビル3階
TEL03-5395-2631 FAX03-5395-2831

全腎協に新たな送迎団体が発足 2010年活動開始

岡山県に新たなボランティア通院送迎団体が発足し、今年1月から送迎活動を開始しました。

新たに全腎協の通院介護支援事業団体として送迎活動を始めたのは、岡山県新見市の「新見クリニック腎友会」です。「新見クリニック腎友会」が送迎活動の実施を検討し始めたのは今から約2年前、透析施設側から資金難のため送迎サービスを早晚廃止せざるを得ないと告げられた時でした。

当時、同腎友会のある透析施設（新見クリニック）は無料の送迎サービスを実施しており、複数の患者がこれを

利用していました。送迎サービス廃止は多くの患者にかかる問題だけに、腎友会にとっても大きな問題です。新見クリニック腎友会会長の早川幹雄氏は当時を振り返り、「どうしたら安定的に送迎を確保できるか、先々のことまで慎重に検討しました。業者に委託という方法も考えましたが、その業者がいつまでも送迎を続けてくれるという保障はありません。それだったら、自分たちでやろうじゃないか、ということになったわけです」と言います。

「新見クリニック腎友会」では目下約40名の患者を送迎しています。

全腎協「通院介護支援事業マニュアル」編集始まる

前号でお伝えした全腎協によるボランティア通院送迎の手引書『通院介護支援事業マニュアル（仮）』の編集作業が、早速ワーキンググループ（WG）によって行われています。

現在、WGは昨年の第7回通院介護支援事業交流会で第2分科会を担当した金子智副会長、馬場享通院介護対策委員が中心となり、マニュアルの構成等を議論しています。また、今後のWGでの作業進め方について馬場氏は次のように語りました。

馬場氏コメント：「第7回通院介護

支援事業交流会の第2分科会では、通院送迎を実施するためにはいくつかの問題点があることが明らかになりました。リーダーの存在、組織力、一歩踏み出す勇気、行政との折衝など、これらの問題点をわかり易く解説し、通院送迎問題を考える時に役立つ手引書を作成するためにWGはスタートしました。今後は多様な問題点をテーマごとに提起し、その対応を各地の事例等をまじえて“はーと・なび”で発信しつつ、最終的にそれらをマニュアルとしてまとめ上げたいと考えています」

各地のトピックス

全国移動ネット 法改正求め 国土交通相宛に要請書提出

2009年12月17日、NPO法人全国移動サービスネットワーク（全国移動ネット）は前原国土交通大臣宛に福祉有償運送等の制度見直しを求める要請書を提出しました。

全国移動ネットは要請書のなかで、福祉有償運送が広まらない背景には法制度上の問題があるためとし、以下の道路運送法の改正を求めていました。

全国異動ネットが掲げた要望内容

1. 移動制約者の移動の保障に対する財政的な支援と自治体の責任の明記
2. 有償運送（79条）登録要件である「運営協議会の合意」の撤廃と役割変更
3. 制度運用における異議申し立てのための第三者機関の設置
4. 有償運送（79条）の対価基準の撤廃を含めたルールの見直しと簡素化
5. 福祉有償運送の利用者条件に経済的要因など生活環境要因を考慮すべき

ニュース・ファイル

・高齢運転者等専用駐車区間の対象者 70歳以上・妊娠婦・一部障害者

全腎協がすべての透析患者を利用対象者として認めるよう意見していた高齢運転者等専用駐車区間について、警察庁は利用対象者を高齢者マーク対象者（70歳以上）、障害者マークおよび聴覚障害者マーク対象者、妊娠中又は出産後8週間以内の者とすると発表しました。残念ながら、警察庁の発表は全腎協の意見を反映したものではありませんでした。

「ほほえみ諫早」広報強化に パンフレットを作成（長崎）

「ほほえみ諫早」では積極的な広報を行うために、活動内容等を紹介するリーフレット（A4・三つ折）を作成しました。

広報用リーフレットの作成は「ほほえみ諫早」にとって初の試みですが、完成了したリーフレットは団体の活動や沿革等がコンパクトにまとめられ、フルカラーの親しみやすい仕上がりとなっています。「ほほえみ諫早」では、同リーフレットを活動地域の透析施設等に設置し、患者や家族等への配布を予定しています。

※「ほほえみ諫早」のリーフレットをご覧になりたい方は、全腎協事務局までお問合せ下さい。



・地デジで予約するデマンド型交通 全国初の社会実験（新潟県三条市）

地上デジタル放送（地デジ）の機能を利用して予約受付を行うデマンド型交通の社会実験が、新潟県三条市で今年1月から始まります。

デマンド型交通は利用者があらかじめ入れた予約にもとづいてバス等を運行するもので、三条市の実験は、この事前予約を地デジの双方向機能を利用してテレビリモコンで行います。